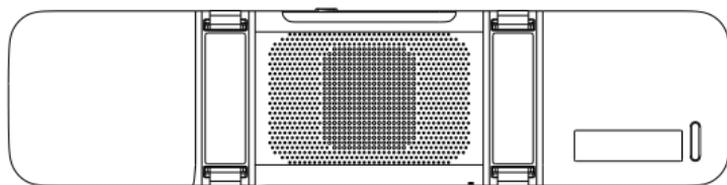


# Regeo

デジタルバックミラー(ドライブレコーダー機能搭載)

**SRZ-1220**

## 取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書(取扱説明書)をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。  
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

### 保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 目次

## はじめにお読みください

microSDカードについて (重要) .....	1	液晶画面の操作 .....	33
安全上のご注意 (必ずお守りください) .....	3	録画 .....	35
使用上のご注意 (必ずお守りください) .....	6	録画種別 .....	36
注意事項 .....	7	録画ファイル .....	38
商品構成一覧表 .....	13	再生メニュー .....	42
各部の名称と働き .....	14	リバース連動 .....	45
取り付け .....	17	駐車監視録画 .....	49
microSDカード .....	24	設定メニュー .....	52
オートフォーマット .....	26	PCビューワー .....	55
電源オン/オフ .....	27	トラブルシューティング .....	56
画面モード .....	29	エラーメッセージ .....	59
ホーム画面 .....	30	その他 .....	60
ファンクションメニュー画面 .....	31	製品仕様 .....	62

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHCやmicroSDXCカードを便宜上、「microSD」と表記しています。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

## 免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害また録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 常時電源ケーブルを使用した際の駐車監視機能は、車両のバッテリーを使用します。そのため、車両のバッテリーに負担がかかりますので、定期的な点検をしてください。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED方式の信号機は、録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品のmicroSDカードを使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

## microSDカードについて（重要）



本製品を使用する前は、必ず、microSDカードをフォーマットしてください。  
フォーマットしないとご使用できません。



安定してご使用いただくため、microSDカードを定期的にフォーマットしてください。  
※推奨: 1ヶ月ごと

microSDカードのフォーマット操作方法については、P.25を参照してください。

### ●microSDカードのフォーマットとは？

フォーマットとは、microSDカード内のデータを初期化することであり、長期間、microSDカードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイルの断片化）が発生しやすくなります。

フォーマットせずにお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSDカードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくために、製品お買い上げ時および1ヶ月ごと（推奨）に定期的なフォーマットをしてください。

※microSDカードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSDカード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

※microSDカードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください

## microSDカードについて（重要）



ご注意

**安定してご使用いただくため、microSDカードを定期的にフォーマットしてください。※推奨1ヶ月**

**microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。**

- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- フォーマットしないままご使用されると、正しく録画ができない場合があります。
- フォーマットする際は、本機によるフォーマットをするか、パソコンでフォーマットをおこなってください。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード自体の寿命で使用できなくなった場合、パソコンでも読み込みができなくなり、正常にご使用できなくなります。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガーアダプターを抜き、本体の電源をオフにしてください。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 市販のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- 市販のmicroSDカードについての仕様に関しては、microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 本体の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんので、ご注意ください。
- 本機は、8GB～64GB Class 10以上のmicroSDカードに対応しています。ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。市販品のmicroSDカードを使用された場合の動作不良に対しては保証対象外となります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。  
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	<b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	<b>注意</b>	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	<b>禁止</b>	絶対にしていけない事項
	<b>強制</b>	必ず守るべき事項

### 警告

必ず規定容量のヒューズを使用する、  
また、交換は専門技術者に依頼する

-  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。（ヒューズ:3A）

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

-  運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ハンドル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やケガの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルト  
やナットを絶対に使用しない

-  ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作しない、また画像・表示を注視しない

-  走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け、配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる。

-  車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように配線する

-  ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

**!** 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12Vマイナスアース車で使用する

**!** DC12Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

**!** 煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店でご相談ください。

分解や改造はしない

**!** 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

**!** 小部品を誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

**!** 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う

**!** 取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 **⊖** を外しておく

**!** バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

機器の通風孔を塞がない

**!** 機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

**!** 配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

車載用以外には使用しない

-  車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない

-  落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

-  ショートや断線により、発煙、発火や故障の原因になります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

-  指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器がずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けしない

-  直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると、内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない

-  雨や洗車などで水がかかったり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けしない

-  強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

-  雷が鳴りだしたら、シガーアダプターに触れないでください。感電の原因になることがあります。

液晶画面に表示される映像とミラー表示は異なります

-  液晶画面に表示される映像と鏡面ミラーに映る範囲は異なりますので、あらかじめ違いを確認してください。

システムには限界があります

-  本製品のカメラ機能は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

## 使用上のご注意（必ずお守りください）

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

### ⚠ 注意

#### 取り付け中はエンジンを切る

- ⚠ 本機の実取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがオンの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

#### 磁気性があるものに近づけない

- ⚠ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

#### 画質が落ちることがあります

- ⚠ トンネル入出時、急に明るさや暗さに変化する場合があります。逆光が強い場合、夜など光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

#### フロントガラス、リアガラスと本機のレンズの表面をきれいにする

- ⚠ 車のフロントガラス、リアガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できないことがあります。

#### 信号機の色を認識できないことがあります

- ⚠ LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

#### microSDカードの保存容量超えに注意

- ⚠ ファイルが増えると、microSDカードの保存容量を超え、録画ができなくなったり、緊急録画できなくなる可能性があります。必要に応じてファイルを削除してください。

#### 日本国内のみで使用する

- ⚠ 本機は日本国内のみで使用できます。海外では使用できません。

# 注意事項

## GPSについて

- GPSとは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- トンネル内やビル群、山間部等では、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。また、衛星の受信状態などにより、約 50m～100m程度の測定誤差が出る場合があります。
- 自転車位置はGPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自転車位置の測位を行うことはできません。
- 本機の録画データに記録される日時や位置情報はGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 本機のGPSはフロントカメラユニットに内蔵されているため、フロントカメラユニットには塗装やシール貼付等しないでください。GPS性能が落ち、十分な性能を発揮しなくなります。
- 車両のフロントウィンドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS受信に影響が出る可能性やGPSが受信できない可能性があります。
- フロントカメラユニットは各車載機器(※1)および各アンテナ(※2)からなるべく離れた位置に設置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。そのような場合、各車載器から離して、GPS衛星の受信に影響のない場所へ設置してください。
  - ※1 ナビゲーション本体、ETC車載器、地デジチューナー、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機など
  - ※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど
- GPSの受信環境により、起動時間が長くなったり、GPS受信までに時間がかかる場合があります。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。
- 最後に電源オフしてからの自転車位置と次に電源オンした地点が離れていた場合、GPS受信までに時間がかかる場合があります。
- 車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や衝突回避支援システム(カメラ)などを搭載した車両に設置すると、位置によっては衝突回避支援システムからのノイズに干渉し、GPSが測位しづらくなる場合があります。
- ナビゲーション本体や地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器から漏れた電波により、GPSを受信できない場合があります。
- 長期間本機をご使用にならなかった場合や内蔵キャパシタの充電が空の場合、本体内蔵のGPS測位(受信)に時間がかかる場合(3～4分)があります。その場合、電源を入れてからしばらくすると正常にGPS受信します。
- GPSが測位(受信)できていない場合、日時の自動取得ができなくなります。

# 注意事項（つづき）

## アイドリングストップ車について

- 一部のアイドリングストップ車では、エンジン再始動時に電圧変動が発生することにより、供給電圧が低下する場合があります。その場合、本機の電源がオフとなる可能性があります。
- 車両のバッテリーのコンディションにより、エンジン再始動時に本機の電源が落ちる場合があります。その場合は、車両バッテリーの電圧を確認してください。

## 録画について

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプやディスプレイを注視しないでください。
- 画面モード切り替えや輝度調整、静止画撮影を行う場合、周囲の安全を十分に確認した上で操作してください。
- 設定操作やリバース連動設定を行う場合は、必ず、安全な場所で車両が止まっている状態（パーキングギアに入っている状態かつサイドブレーキがかかっている状態）で行ってください。
- 録画環境により、録画した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が青くなる場合や赤くなる場合がありますが、カメラの性能によるためであり、故障ではありません。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変化する場合があります。
- 電源オン後、SDカード読み込みのため、録画開始まで時間がかかる場合があります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

## 注意事項（つづき）

### 取り付けについて

- 本書の「取り付けについて」にしたがって、正しく取り付けてください。  
→「P17 取り付け」
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ミラー面には衝撃を与えないでください、破損でけがの原因になります。
- 他の車載器や無線機、テレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などに干渉しない場所へ取り付け・配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。事故の際に、安全装置が正常に動作せず、けがの原因となります。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようにご注意ください。また、必ず車内へ取り付けてください。
- リヤカメラを取り付ける前に、必ずガラス面の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。
- 純正ミラーの形状やミラー周辺の干渉物によっては、取り付けができない場合があります。
- 純正ミラーに取り付ける際は、固定用バンド、スライドアームで確実に取り付けしてください。取り付けに不備があると、走行中に脱落するなど大変危険です。
- 車両の室内ルーフがGPSアンテナに被ってしまう車両はGPSを受信しにくい場合があります。
- 配線処理は、運転の妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引っ張られた状態で配線の取り直しを行うと、断線や接触不良により動作が不安定になる可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちるなどの可能性があります。配線は余裕を持たせて取り回してください。
- 付属品以外のもは使用しないでください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに鮮明に記録できなくなります。
- 本体および各カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。

## 注意事項（つづき）

### 液晶ディスプレイについて

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。ディスプレイの明るさを調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約-10°C以下または約60°C以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、画像表示が遅延、画像が消えるのに時間を要する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
- 本体の温度が極端に高い場合や低い場合は、カメラ映像が乱れる場合があります。本体が適正な動作仕様温度に戻ると、正常に表示するようになります。
- 使用環境や状況により、太陽光や照明等の直接光、反射光がカメラ視野範囲内に映り込むと液晶画面が見えにくくなる場合があります。
- 夜間など暗い環境下や照明の下などでは、実際の色味などが異なる場合があります。
- ルーフ付車の場合は、画面への映り込み軽減のため、シェードを閉めてご使用ください。
- 通常のミラーとの見え方の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさや距離感が異なって見える場合があります。  
特にカメラ画面（カメラモード）時は、液晶画面に映る車両や障害物が実際の大きさと異なる場合があります。
- 本機は純正ルームミラーとは視界の範囲や実際の距離感と異なります。
- 明るいところから暗いところなどへ移動した場合、急激な明暗の変化時にノイズが発生したり、画面の色調が青くなる・赤くなるといった変化が生じる場合がありますが、これはレンズの性質であり、故障ではありません。
- 特に夜間など、光源が極端になくなった場合、画面が青くなる。赤くなるといった場合があります。また、その状態から光を取り込むと、実際に肉眼で見た場合の色味や明るさと異なる場合があります。
- ディ스플레이が反射して見えにくい場合は、サンシェードを閉めてください。
- 夜間など暗いところでは、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
  - ・ 映像の色と実際の色が異なって見える
  - ・ 後続車のライトの高さなどによっては、後続車の周囲が白くぼやけて見える
  - ・ 液晶の輝度調整をすることにより、特有のちらつきが発生する※映像が見えにくい場合や、ちらつきが気になる場合は、ミラーモードに切り替えてご使用ください

## 注意事項（つづき）

### 液晶ディスプレイについて

---

- 本体が発熱することがありますが、異常ではありません。
- 体調、年齢などにより、ディスプレイに表示される映像に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。焦点が合わせづらいと感じたときは、ミラーモード（液晶オフ）に切り替えてください。
- 主に同乗者がディスプレイを凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、実際に見える現実の風景と異なる場合があります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、表示フレームレートの影響から、応答速度が遅くなり、滑らかに表示しない場合があります。
- 液晶ディスプレイ上で長時間連続的な操作を行った際、応答速度に遅延が生じたり、画面にチラつきが発生したりする場合がありますが、これは故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 液晶画面の汚れは、付属のクリーニングクロスで清掃してください。

### リヤカメラについて

---

- 本製品専用のリヤカメラとなります。その他の製品(他社製品含む)に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。
- 本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- リヤカメラは本体同様、防水構造ではありません（ケーブル含）。必ず車内へ取り付けてください。
- 特に夜間など、光源が極端になくなった場合、画面が青くなったりする場合があります。また、その状態から光を取り込むと、実際に肉眼で見た場合の色味や明るさと異なる場合があります。
- リヤカメラの配線処理の際、ケーブル類が車両のドア開閉の妨げにならないようご注意ください。無理に配線をすると、断線等が起き、故障や破損の原因となります。

### シガーアダプターについて

---

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。
- シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。本体への電源供給不足により、正常に動作しない場合があります。また、カメラ映像画面にちらつきが発生する場合や火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

## 注意事項（つづき）

### 本機の日付と時刻について

---

- 本機の日付と時刻は、「GPS日時設定」がONになっている場合、GPSデータを受信すると自動で設定されます。  
→日付設定について「P52 設定メニュー」
- ※トンネルやビル群、山間部などGPSを受信できない環境では日時が取得できません。
- ※GPSを受信できない環境に置かれた場合、録画データの日時にずれが生じることがあります。

### カメラレンズについて

---

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり異常ではありません。

### リバース連動機能について

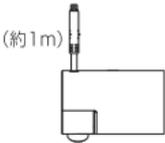
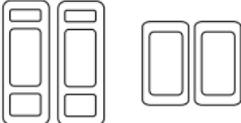
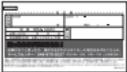
---

- 本機は、バックギアに入れる（リバースオン）ことで、車の後方を本機のモニター画面で確認することができます（リバース連動機能）。
- リバース連動のカメラ映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。
- 後退する際は、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リバース連動のカメラ映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リバース連動のカメラが映し出す範囲には限界があります。
- リバース連動のカメラ映像に映し出される車幅・距離ガイドラインは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所、天候など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- ガイドラインはあくまで目安となります。
- リバース連動の表示調整や本機の角度調整を行う際は、車を安全な場所に停車して行ってください。
- リヤカメラの映像は広角レンズを使用していますので、実際の距離と感覚が異なります。必ずゆっくりと運転してください。

# 商品構成一覧表

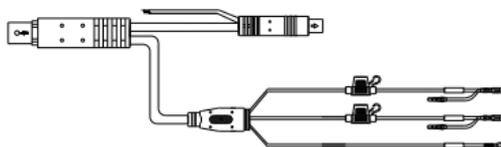
## 本体および付属品

設置および接続する前に、必ず以下の同梱物を確認してください。

<p>■ 本体</p> 	<p>■ フロントカメラユニット (約1m)</p> 	<p>■ リヤカメラ</p> 
<p>■ シガー電源アダプター (約4m)</p> 	<p>■ リヤカメラ延長ケーブル (約7.5m)</p> 	<p>■ フロントカメラケーブル (約0.5m)</p> 
<p>■ microSDカード32GB (本体挿入済み)</p> 	<p>■ クリーニングクロス</p> 	<p>■ 固定用バンド</p> 
<p>■ 取扱説明書</p> 	<p>■ 保証書</p> 	

## オプション品 (別途、お買い求めください)

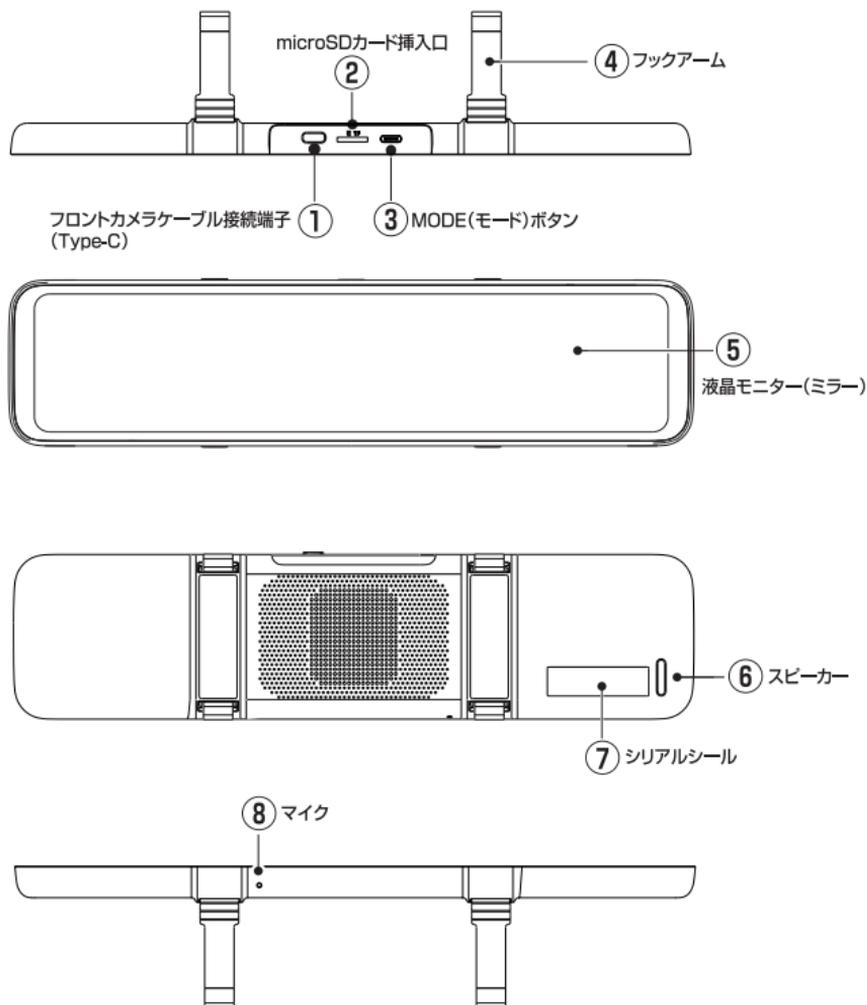
### ■ 常時電源ケーブル(RDPC-1)



※別売品について→「P60 その他」を参照ください

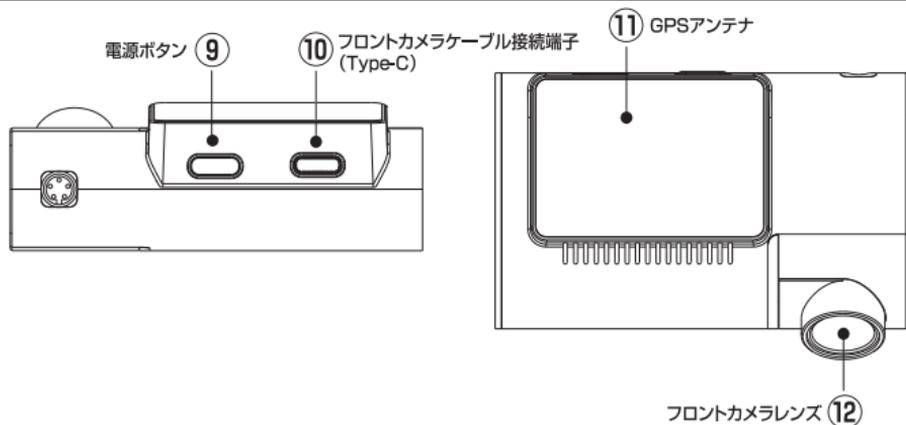
# 各部の名称と働き

## 本体

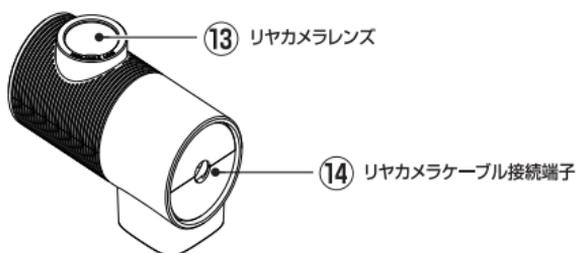


# 各部の名称と働き（つづき）

## フロントカメラユニット



## リヤカメラ



### ①/⑩ フロントカメラケーブル接続端子 (Type-C)

フロントカメラケーブル (Type-C) 端子を接続します。

### ② microSD カード挿入口

microSD カードを挿入します。

※無理な力で差し込んだり、抜き出したりしないようにご注意ください

※microSD カードが入りづらい場合は、一度抜き出してから、再度垂直・水平に挿入してください

### ③ MODE (モード) ボタン

<電源オン時>

短押し：カメラモード/ミラーモードの画面モードを切り替えます。



注意

電源オフ中および駐車監視モード中は、MODE (モード) ボタンの操作は無効となります。

# 各部の名称と働き（つづき）

## 本体取り付け方法

### ④フックアーム

車両ルームミラーに取り付ける際、フックアームと付属ゴムバンドで本体を固定してください。

### ⑤液晶モニター(ミラー)

液晶ディスプレイについては、「P7 注意事項」をよくお読みください。

### ⑥スピーカー

操作音やファイル再生時にファイルに録音された音声が出力されます。

### ⑦シリアルシール

製品情報シール。

### ⑧マイク

周囲の音声を録音します。

### ⑨電源ボタン

<電源オン時>

長押し：電源オフ(2秒)

<電源オフ時>

長押し：電源オン(2秒)

#### ⚠注意

本機が動作しなくなった場合や期待しない動作状態になった場合は電源オフ→オンしてください。

### ⑪GPS アンテナ

フロントカメラユニット内に GPS を内蔵して、衛星データを受信します。

※取り付け位置によっては、内蔵 GPS が受信しにくい場合があります

### ⑫フロントカメラレンズ

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

### ⑬リヤカメラレンズ

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

### ⑭リヤカメラケーブル接続端子

リヤカメラケーブルの USB 端子を接続します。

# 取り付け

## 本体取り付け方法

固定用フックアームおよび固定用バンドを使って、車の純正ルームミラーに本機を取り付けます。

※取り付けの際は、ルームミラーに強い荷重が掛からないよう、本機とルームミラーをしっかりと支えながら取り付けてください

※フックアームを取り付ける際、無理な力でアームを引っ張らないでください

### <取付方法>

1. 固定用フックアームを純正ミラーの上部に引っ掛け、本体を下側に下げながら純正ミラーに挟み込みます (図1)。
2. もう片側も同じ方法で取り付け、本体の位置を調整します。
3. 純正ルームミラーに挟み込んだら、固定用バンドをフックアームのフックに引っ掛けます (図2)。
4. 純正ミラーと本機を一緒に持ちながら、本機が確実に装着されていることを確認してください (図3)。

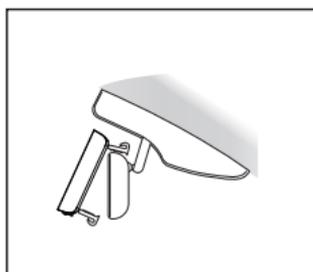


図1



図2

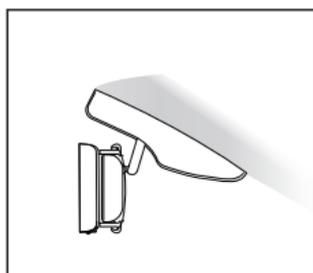
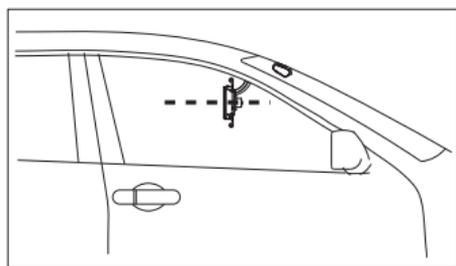
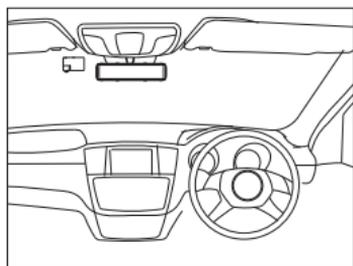


図3

# 取り付け（つづき）

## 本体取り付けイメージ



### **ご注意**

- ・本製品が純正ミラーにしっかりと装着されているか確認の上、ご使用ください。
- ・ルームミラーの車体への取り付け強度が弱い車種などは、破損やぐらつきの原因となりますので、ご注意ください。
- ・取り付け時は、ルームミラーに強い荷重が掛からないように、ルームミラーをしっかりと支えてください。車体への取り付け強度が弱い一部の車種では破損する原因となります。
- ・本機は、純正ルームミラーとは視界の範囲や距離感が異なります。
- ・本機は、純正ルームミラーに直接取り付けるため、振動などによりミラーが触れてしまう場合やルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- ・走行中、運転者によるミラーの角度調整や操作は絶対に行わないでください。
- ・本製品は、純正ミラーと距離感や視界の範囲が異なりますので、ご注意ください。
- ・取り付けの際、純正ミラーに負荷が掛からないように、両手で押さえながら作業を行ってください。
- ・運転者の視界を妨げないように取り付けをしてください。
- ・本機のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。事故などの原因になります。
- ・取り付けの際、本機の鏡部分（液晶部分）やフレームなどを強く押ししたりしないでください。
- ・車両進行方向にカメラを向けて取り付けてください。
- ・紫外線の影響により、本体が色褪せする場合があります。
- ・各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。
- ※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- ・純正ルームミラーが薄い場合、本機の固定部分の内側にはまってしまう、傷がつく恐れがあります。必ず、ゴムの部分で固定するように取り付けしてください。
- ・上記の警告・注意に従わない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

# 取り付け (つづき)

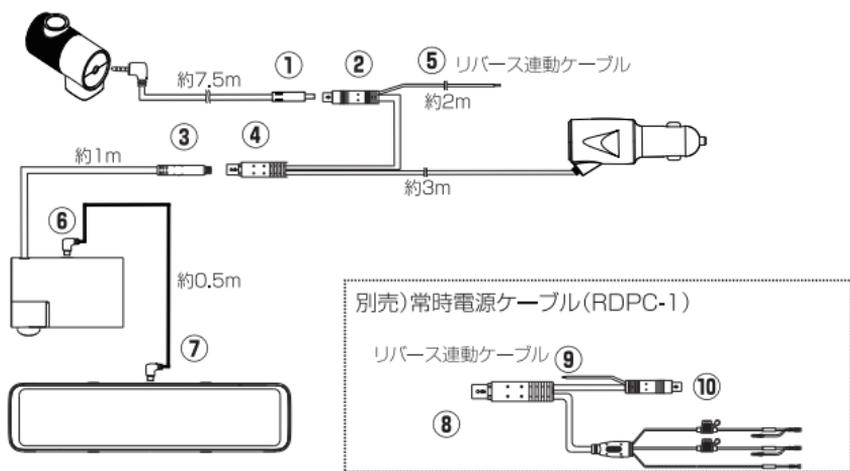
## 各種ケーブルの接続

本体と各種ケーブル類を接続します。

ケーブルは以下の通り、各用途によって差込口が異なりますので、ご注意ください。

※各プラグには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。形状を確認して接続してください

### <配線図>



### <リヤカメラの接続>

プラグ①+プラグ②を接続します。

※電源がオンの状態でリヤカメラケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります

### <シガー電源アダプターの接続>

プラグ③+プラグ④を接続します。

### <フロントカメラユニットの接続>

プラグ⑥+プラグ⑦を接続します。

### <リバース線の接続(リバース連動)> →リバース連動について「P45 リバース連動」

車両のリバース信号線(紫線)と配線⑨を接続します。

※バックギア(リバース)をオンした際、バックカメラとしてご使用する場合、この接続が必要となります

※リバース線の接続を行わない場合は、バックギアをオンにしてもリバース連動が動作しません

### <常時電源ケーブル(RDPC-1)を使用する場合>

- ・プラグ⑧とプラグ③を接続します。
- ・車両のリバース信号線(紫線)と配線⑨を接続します。
- ・プラグ⑩とプラグ①を接続します。

※詳細は、常時電源ケーブル(RDPC-1)の接続図をご確認ください

# 取り付け（つづき）

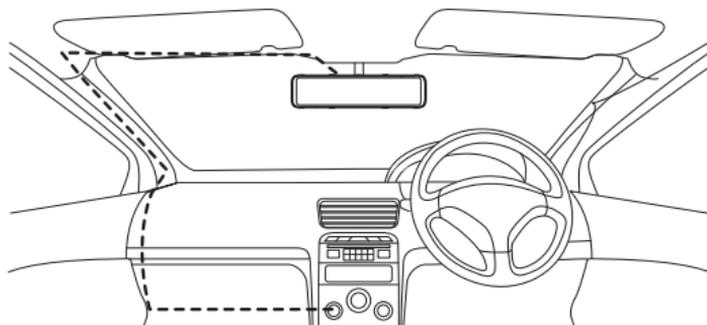
## シガー電源アダプターの接続



- ・シガー電源アダプターは必ず付属品をお使いください。
- ・付属品以外のシガー電源アダプターを使用した場合、本製品もしくは車両が破損する場合があります。また、動作した場合であっても、電圧の関係上、録画できない場合や画面のちらつきが発生する可能性があります。
- ・シガーソケットを分岐した状態で使用しないでください。分岐された状態で使用すると、電圧の関係上、録画できない場合や画面のちらつきが発生する可能性があります。
- ・シガーライター使用直後は、電源端子が高温になっています。そのままシガー電源アダプターを接続すると先端が溶断・ショートする可能性がありますので、しばらく時間をおいて、熱が冷めた状態でシガー電源アダプターを接続してください。
- ・安全に運転するため、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください（必要に応じてインシュロック等で配線してください）。
- ・長期間本機を使用しない場合、シガー電源アダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。
- ・キーを抜いた状態または車両電源がOFF状態でシガープラグに通電している車種は、バッテリー保護のため、エンジン停止時は必ず、シガー電源アダプターを抜いてください。

1. 同梱のシガー電源アダプターを車両のシガーソケットに差し込みます。

※この時、車のエンジンはオフ（アクセサリオフ）の状態でご接続してください  
（エンジンオン状態で接続すると、破損・故障の原因となります）



車両のシガーソケットから電源を取ります

# 取り付け（つづき）

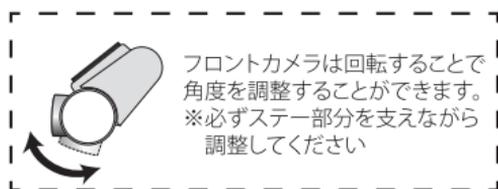
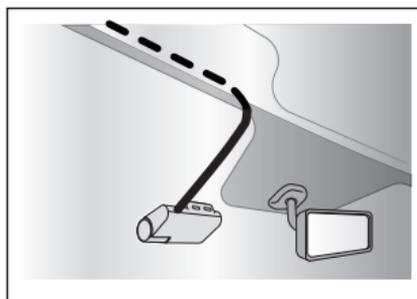
## フロントカメラユニット取り付け方法

### <取付方法>

フロントカメラユニットの設置場所を決め、フロントカメラユニットの粘着シートを剥がして、フロントガラスに貼り付けます。

※貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後、両面テープでしっかりとフロントガラスに貼り付けます

※粘着力を高めるため、リヤカメラ本体を取り付け後、24時間放置することをお勧めいたします



### ご注意

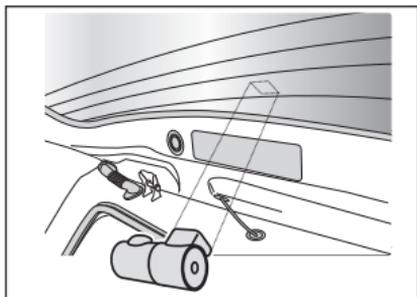
- ・フロントガラスが左右方向に湾曲している場合、湾曲部分に取り付けると、カメラレンズを回転させた際、フロントガラスに干渉する可能性がありますので、予めご了承ください。クリアランスを取る場合、湾曲していない箇所へ取り付けてください。

## リヤカメラ取り付け方法

### <取付方法>

リヤカメラの設置場所を決め、リヤカメラステーの粘着シートを剥がして、後部ガラスに貼り付けます。

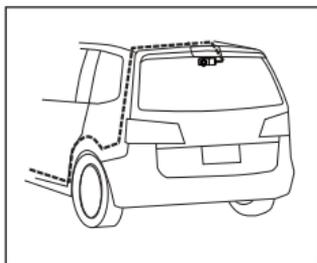
※貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます



# 取り付け（つづき）

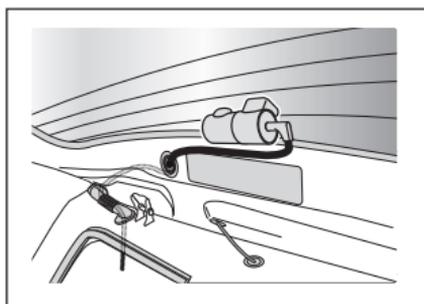
## リヤカメラ取り付け方法

3. リヤカメラケーブルをリヤウィンドウまで配線します。



左図イラストでは、車内下側を配線していますが、車種によっては、リヤカメラケーブルの取り回しにより、車内上部（ルーフ、内張内等）を通す必要があります

4. リヤカメラ接続ケーブルをリヤカメラ本体の接続端子に接続します。



リヤカメラは回転することで角度を調整することができます。  
※必ずステー部分を支えながら調整してください

リヤウィンドウの上部に貼り付け、角度調整することで、最適の映像を録画できます。  
※カメラの角度調整をする場合は、カメラ本体を支えながら調整してください  
（無理に回すとリヤカメラ本体が外れる可能性があります）

## 取り付け（つづき）

5.バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認してください。

※リヤカメラおよびケーブルが損傷すると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損の原因になります

※実際の映像を確認しながら取り付けをしてください



### ご注意

- ・安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないように設置および配線をしてください。
- ・すべての付属品を接続してから、電源を入れてください。
- ・電源がオンの状態でリヤカメラケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります。またシステムやバッテリー状態により、本体が自動的に再起動または本体フリーズする場合があります。
- ・電源オンの状態で、各種ケーブルや付属品を接続すると、誤動作したり、故障する可能性がありますので、おやめください。
- ・リヤカメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまになっていないことを確認してから、取り付けてください。
- ・取付け後、両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体が後部ガラスにきちんと貼り付いていないと剥がれることがあります。
- ・取り付け位置によって、後方車両のヘッドライトや太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。
- ・高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、後部ガラスの各種アンテナに干渉し、テレビやラジオの受信感度が低下する場合があります。その場合は、各種アンテナから50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。
- ・各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。  
※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- ・上記の警告・注意に従わない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

# microSDカード

## microSDカードの挿入と取り出し

1. microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。



2. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください

3. microSDカードを取り出す際は、microSDカードを押し込み、microSDカードが少し飛び出してから引き抜きます。

※勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失にご注意ください



### **ご注意**

- ・ microSDカードを挿入する際は、正しい向きを確認してから挿入してください。
- ・ 付属品のmicroSDカード以外を使用すると、正しく録画ができない可能性があります。
- ・ microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- ・ 事故発生時は、記録された映像データが破損しないよう、microSDカードを抜いて、保管してください。
- ・ 電源オン中にmicroSDカードを抜くことはおやめください。録画データが破損または消去される可能性があります。なお、電源がオン中にmicroSDカードを抜くと、電源保護回路が動き、本体電源がオフとなります。

## microSDカード（つづき）

### microSDカードのフォーマット

本製品をご使用になる前に、microSDカードをフォーマット（初期化）してください。フォーマットの手順は下記の通りです。

- 1.同梱されているmicroSDカードが挿入されていることを確認してください。
- 2.車のエンジンをオン（ACC ON）もしくは、本機の電源ボタンを操作して、本体を起動します。  
→電源の入れ方について「P27 電源オン/オフについて」
- 3.起動すると、自動的に録画が開始されるので、画面をタッチして、ファンクションボタン内の「録画停止」ボタンをタッチします。  
※録画を停止しないと設定メニューに切り替えることができません  
※画面モードをカメラモードに切り替えないとファンクションボタンが表示されません



録画/録画停止ボタン

- 録画開始ボタン
- 録画停止ボタン

- 4.設定メニューボタンをタッチして、設定メニューに入ります。



設定メニューボタン

- ⚙️ 設定メニューボタン

- 5.設定メニュー内にある「SDカード情報」を選択します。  
→設定メニューについて「P52 設定メニュー」
- 6.「フォーマット」を選択すると、microSDカードがフォーマットされます。

### ⚠️ ご注意

- ・フォーマット操作は、車両が停止している状態で行ってください。
- ・フォーマット中は本機の電源を切らないようご注意ください。
- ・フォーマットを行うと、microSDカード内のデータが全て消去されます。大切なデータはパソコンへコピーして保存をしてください。
- ・本機でフォーマットができない場合は、パソコン等でフォーマットを行ってください。
- ・新品または本機で初めて使用するmicroSDカードは、使用前に必ずフォーマットをしてください。

# オートフォーマット

## microSDカードのオートフォーマット

- ・本製品は、microSDカードのフォーマット忘れを防ぐため、「オートフォーマット」機能を搭載しています。
- ・オートフォーマットは、毎月1日の00時00分以降に電源をオンした場合、自動的にフォーマットを行う旨をお知らせするメッセージ画面が表示されます。
- ・一度メッセージが表示されると、次の表示は翌月となります。
- ・毎月1日に電源をオンしなかった場合は、当月、初めて電源オンした時に機能が働きます。

●オートフォーマットが機能した場合、アラート音と共に画面にメッセージが表示されます。

### [フォーマットをする場合]

メッセージ表示してから何も操作を行わないと、約10秒後に自動的にフォーマットを行います。

### [フォーマットをしない場合]

キャンセルを選択します。

キャンセルを選択すると、フォーマットを行いません。



## ご注意

- ・オートフォーマットメッセージ表示中も録画を継続するため、フォーマット完了前に録画開始音声が流れます。
- ・フォーマット中は本機の電源を切らないようご注意ください。
- ・フォーマットを行うと、microSDカード内のデータが全て消去されます。大切なデータがある場合は、キャンセルをして、パソコンへ保存をしてください。

# 電源オン/オフ

## 電源オン

### <エンジン連動>

- シガー電源アダプターが接続されている状態でエンジンオン（ACCオン）すると、自動的に電源オンとなり、オープニング画面が表示されます。  
※駐車監視モード中の場合、駐車監視を解除して、通常起動します

### <手動操作>

- 起動中にフロントカメラユニットの電源ボタンを長押しで電源オフした後、再度、電源ボタンを長押しすると、本機が電源オンとなり、オープニング画面が表示されます。  
※エンジンオン状態（ACCオン）かつ意図的に電源ボタンで電源をオフした場合のみ、有効な操作となります



## 電源オフ

### <エンジン連動（シガー電源アダプター使用時）>

- エンジンオフ（ACCオフ）すると、本機の電源がオフとなります。

### <エンジン連動（常時電源ケーブル使用時）>

- 駐車監視設定が「オン」の場合  
▷エンジンオフ（ACCオフ）すると、ディスプレイオフ画面（駐車監視モードスタンバイ状態）になります。
- 駐車監視設定が「オフ」の場合  
▷エンジンオフ（ACCオフ）すると、本機の電源がオフとなります。

### <手動操作>

- 電源オン時に電源ボタンを長押しすると、本機の電源がオフとなります。  
※エンジンオン状態（ACCオン）かつ意図的に電源ボタンで電源をオンした場合のみ、有効な操作となります



## ご注意

- ・別売の常時電源ケーブル（RDPC-1）を使用した場合のみ駐車監視機能をご使用頂けます。
- ・駐車監視録画について「P49 駐車監視録画」
- ・駐車監視の設定について「P52 設定メニュー」

# 電源オン/オフ (つづき)



## <エンジン連動オン機能について>

- ・本機は、エンジン連動機能が搭載されているため、車のエンジンオンで自動的に電源が入るようになります。また、車のエンジンをオフにすることで、自動的に電源がオフとなります。  
※車種によっては、車両システムの影響からエンジン連動しない場合があります。  
あらかじめご了承ください
- ・駐車監視機能設定が[オン]の場合は、車のエンジンをオフにすると、駐車監視モードに切り替わります（専用常時電源ケーブル接続時のみ）。
- ・本機は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、電源ボタンを押して電源を入れるようにしてください。
- ・お買い上げ時や長期間、本製品をご使用にならなかった等により、本体のスーパーキャパシタの充電不足により、電源オンしても数十秒間電源が入らない場合があります。この場合、約1分程度通電をすると電源が入ります。

## <アイドリングストップ車での電源オフについて>

- ・アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がオフになる場合があります（バッテリーや配線を見直しをしてください）。  
その場合、電源ボタンを長押しして再度電源を入れるようにしてください。

## <電源オフ/オンのタイミングについて>

- ・本機の電源をオフした直後は、最終録画ファイルのファイナライズとともに内部メモリ保護回路が動くため、オフ直後に再度電源をオンした場合、電源が入らない場合があります。電源をオフにしてから約10秒以上経過した上で、再度、電源をオンするようにしてください。

# 画面モード

## 画面モード

本機は、通常録画画面を以下の2つのモード（画面）に切り替えることができます。

### <カメラモード>

液晶画面にフロントおよびリヤカメラ映像を表示させることができます。

また、各種操作を行うことができます。

### <ミラーモード>

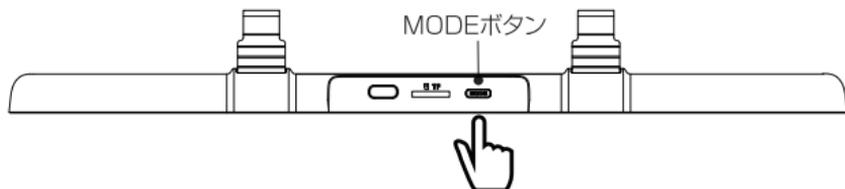
液晶画面をオフにします（ルームミラーとして使用します）。

## 画面モードの切り替え

画面モードを切り替えたい場合は、本体上部にある[MODE（モード）]ボタンを押して切り替えることができます。

[MODE（モード）]ボタンを押すたびに、以下の順番で画面モードが切り替わります（初期値=カメラモード）。

カメラモード → ミラーモード → カメラモード → ミラーモード・・・



# ホーム画面

## ホーム画面

ホーム画面とは、カメラモード状態の基本画面のことです。

※フロントカメラ映像もしくはリヤカメラ映像を表示します

### ▼ホーム画面



各画面からホーム画面に戻った場合、通常録画を開始します。

※ホーム画面中は録画停止状態にすることはできません

## ファンクションメニュー画面

### ファンクションメニュー画面表示方法

カメラモード（カメラ映像表示画面）中に液晶画面の左上のファンクションメニューアイコンをタッチすると、ファンクションメニュー画面が表示されます。

#### ▼ホーム画面



ファンクションメニューボタンをタッチ

#### ▼ファンクションメニュー画面



ファンクションメニューが表示される



### ご注意

- ・約30秒間何も操作が行われないと、ホーム画面に自動的に戻り、録画を開始します。
- ・「画面表示モード」設定が「ミラー」を選択している場合、ミラーモードに戻ります  
※カメラ画面から約5秒後にミラーモードに戻ります
- ・「画面表示モード」設定が「カメラ」を選択している場合、カメラモードに戻ります

### ファンクションボタンの各働き



#### ①ホームボタン

ホーム画面に切り替わります。

#### ②再生メニューボタン

再生メニュー画面に入ります。

※再生メニュー画面に入るには録画を停止する必要があります

→再生メニューについて「P42 再生メニュー」

## ファンクションメニュー画面（つづき）

### ③静止画撮影ボタン

現在カメラが表示している映像の静止画を撮影します。  
※フロントカメラ映像とリヤカメラ映像の静止画撮影を同時に行います  
※録画中に静止画撮影を行っても、録画中断されません

### ④録画時間

録画開始から録画停止までの時間を表示します。

### ⑤ワイプカメラ表示画面

ワイプ画面をタッチすると、フロントまたはリヤカメラの映像を切り替えます。

### ⑥録画中アイコン

録画中は赤いアイコンが表示します。緊急録画中の場合、アイコンは黄色になります。  
※録画が停止している場合は、アイコンは白を表示します

### ⑦SD カードアイコン

SD カードの有無をアイコン表示します。

### ⑧録音アイコン

音声録音の状態をアイコン表示します。

### ⑨GPS 受信アイコン

GPS 信号状態をアイコン表示します。

### ⑩日時表示

現在の日付・時刻を表示します。

### ⑪録画ボタン

録画を開始または停止します。

### ⑫緊急録画(手動)ボタン

通常録画中、緊急録画を行います。  
※緊急録画中にタッチしても緊急録画を停止することはできません

### ⑬設定メニューボタン

設定メニュー画面に入ります。  
※設定メニュー画面に入るには録画を停止する必要があります

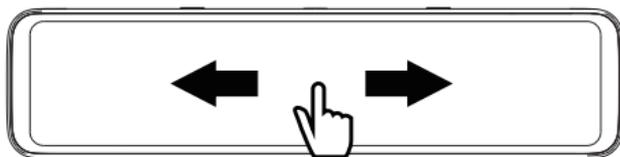
### ⑭バックボタン

一つ前の画面に戻ります。

## 液晶画面の操作

### カメラ映像の切り替え

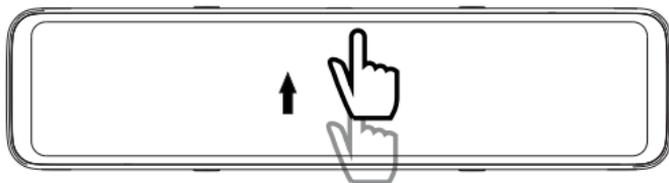
ホーム画面時に液晶部分を左右方向にドラッグすることで、フロントカメラとリヤカメラ映像を切り替えることができます。



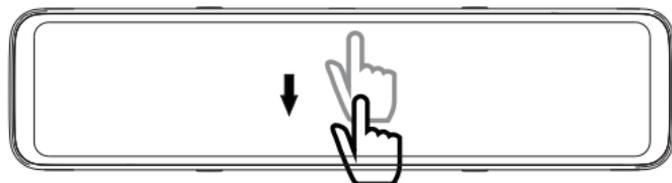
### 映像表示位置調整

ホーム画面時に液晶部分の左側もしくは真ん中のエリアを上下にドラッグ操作することで、カメラ映像の可視角度を調整することができます。

- 画面下側から上側へドラッグ操作するとカメラ画面が**下向き**に変わる



- 画面上側から下側へドラッグ操作するとカメラ画面が**上向き**に変わる

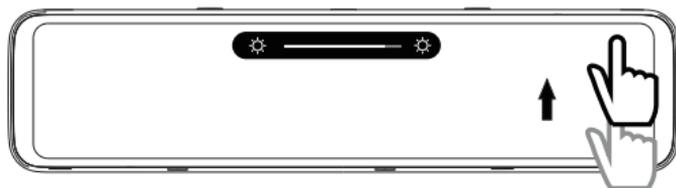


## 液晶画面の操作（つづき）

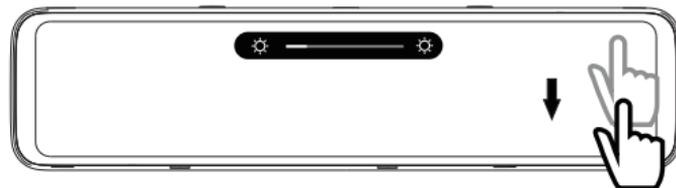
### 液晶画面の明るさ調整

各画面時、液晶画面の右側のエリアを上下にドラッグ操作することで、画面の輝度を調整することができます。

- 画面下側から上側へドラッグ操作すると画面輝度アップ（明るくなる）



- 画面上側から下側へドラッグ操作すると画面輝度ダウン（暗くなる）



※常に明るさを最大値にしておくと、液晶画面の焼きつきが発生する可能性がありますので、ご注意ください

# 録画

## 自動録画について

- ・エンジンオン（ACC ON）して、本機が起動した時に、自動的に通常録画を開始します。
- ・設定メニュー画面中に、何も操作を行わず、約30秒間が経過した場合、設定メニュー画面を解除して、自動で通常録画を開始します。
- ・設定メニュー画面や再生メニュー画面中に、[バック]ボタンや[ホーム]ボタンを押して各メニュー画面を解除した場合も自動で通常録画を開始します。

## 緊急録画操作について

- ・カメラモード（ホーム画面）またはミラーモード中に、液晶画面をダブルタップ（素早くタッチ）もしくはGセンサーによる衝撃感知録画が行われると、緊急録画を行います。この場合、液晶画面上部に黄色の録画プログレスバー（進捗）が表示されます。



### ご注意

- ・ホーム画面以外で緊急録画が発生した場合、録画プログレスバーは表示されません。
- ・カメラモード中に画面をダブルタップした場合、画面演出が行われます。
- ・緊急録画はファンクションメニュー画面の録画停止ボタンで停止することができます。

# 録画種別

## 録画の種類



### 1. 走行モード(エンジンON)



#### ループ録画 (常時録画)

設定された1分間/2分間/3分間のループで録画します。microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。

→ループ録画時間の設定方法「P52 設定メニュー」

→最大録画可能時間について「P38 録画ファイル」

1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続 . . .
-------	-------	-------	-------	-------	------------

#### 緊急録画

##### ●緊急録画(衝撃感知録画)

搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的に録画ファイルを保護します。

※録画ファイルは、再生メニュー画面にて、ファイルの保護や解除、削除を行うことができます

→録画ファイルの保護や削除について「P42 再生メニュー」

※自動的に衝撃を感知して、緊急録画が行われた場合の録画分数は「ループ録画」で設定された分数に依存します

※Gセンサーの感度を調整することが可能です

→感度の設定方法について「P52 設定メニュー」

##### ●緊急録画(手動)

常時録画中に、[緊急録画]ボタンをタッチもしくはホーム画面中に画面をダブルタップすると手動による緊急録画を行います。

※録画ファイルは、再生メニュー画面にて、ファイルの保護や解除、削除を行うことができます

→録画ファイルの保護や削除について「P42 再生メニュー」

※手動による緊急録画が行われた場合の録画分数は「ループ録画」で設定された分数に依存します

## 録画種別（つづき）

### 録画の種類



ご注意

- ・ 駐車監視モード時の衝撃による録画ファイル、緊急録画（Gセンサーによる衝撃感知）または手動による緊急録画を行なった場合の録画ファイルは、「emer」フォルダに保存されます。  
※ファイルを保護する場合は、再生画面で1ファイルずつ保護してください  
→再生画面について「P42 再生メニュー」
- ・ 「緊急録画上書き」設定が[オン]となっている場合、ファイルはmicroSDカードの容量が上限に達した場合、古いファイルから上書きして録画を継続しますので、ご注意ください。
- ・ 緊急録画ファイルや駐車監視モード時の録画ファイルを自動的に削除したくない場合は、「緊急録画上書き」設定で[オフ]を選択してください。  
→感度の設定方法「P52 設定メニュー」

## 2. 駐車監視モード(エンジンOFF)

### 衝撃感知録画

※衝撃は本体のみで感知します



駐車監視設定が[オン]の場合、エンジンを停止して本機の電源が[オフ]になった後でも、本機に搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的に衝撃感知後の映像を録画します。

→駐車監視モードについて「P49 駐車監視録画」

※駐車監視モード時のGセンサー感度は、通常のGセンサー感度設定に依存します

→感度の設定方法について「P52 設定メニュー」



ご注意

- ・ 駐車監視機能を行うには、別売の常時電源ケーブルが必要となります。ただし、車両のバッテリーコンディションにより、録画回数（録画時間）が短くなる場合があります。
- ・ 頻繁に衝撃感知録画が行われる場合は、Gセンサーの感度設定を見直してください。  
→感度の設定方法「P52 設定メニュー」

# 録画ファイル

## 緊急録画ファイルについて（駐車監視モード以外）

緊急録画開始の時点により、「emer」フォルダに保存される映像ファイル数が異なります。

### (例-1)

- ループ(常時)録画の時間設定を「1分」に設定時、動画①⇒②⇒③…とループ録画し続けます。
- 動画②のループ内に事故が発生し、Gセンサーが衝撃を感知すると緊急録画が開始されます。  
※下図★1が緊急録画の開始時点

動画①	動画②	動画③	
1分	5s  20s	35s	1分 録画継続…
	★1		
←→	←→		
保存ファイルA ※1分	保存ファイルB ※25秒(5秒+20秒)		

### <★1の時点(10秒以内)で事故が発生した場合>

二つの映像ファイルが[emer]フォルダへ保存されます。

- ・動画①の映像ファイル  
→保存ファイルA
- ・動画②の既に録画した5秒間+事故発生時点を起点として20秒間の映像ファイル  
→保存ファイルB

### (例-2)

- ループ(常時)録画の時間設定を「1分」に設定時、動画①⇒②⇒③…とループ録画し続けます。
- 動画②のループ内に事故が発生し、Gセンサーが衝撃を感知すると緊急録画が開始されます。  
※下図★2は緊急録画の開始時点

動画①	動画②	動画③	
1分	30s  20s	10s	1分 録画継続…
	★2		
	←→		
	保存ファイルC ※30秒+20秒ファイル		

### <★2の時点(10秒以降)で事故が発生した場合>

一つの映像ファイルが[emer]フォルダへ保存されます。

- ・動画②の既に録画した30秒間+事故発生時点を起点として20秒間の映像ファイル  
→保存ファイルC(合計50秒間の映像ファイルを一つの映像ファイルとして保存する)

## 録画ファイル（つづき）



### ご注意

- ・ 衝撃を感知して緊急録画を行なった場合の録画分数は、「ループ録画」で設定された分数に依存します。

### 緊急録画ファイルについて（駐車監視モード時）

駐車監視モード時の緊急録画は衝撃を感知してから録画を行い、1ファイルとして保存します。→[駐車監視モードについて「P49 駐車監視録画」](#)

- ・ 衝撃感知録画は衝撃を感知してから録画を行います。感知前の録画は行いません。
- ・ 衝撃感知録画中に衝撃を感知しても録画の延長は行われません。

# 録画ファイル（つづき）

## 録画フォルダ

microSD カードに録画、静止画データ保存される際、以下のようなフォルダ構成となります。

※録画の種別により保存されるフォルダが異なります

front_emer	フロントカメラ Event フォルダ
front_norm	フロントカメラ Noraml フォルダ
front_photo	フロントカメラ静止画フォルダ
rear_emer	リヤカメラ Event フォルダ
rear_norm	リヤカメラ Noraml フォルダ
rear_photo	リヤカメラ静止画フォルダ

## 録画ファイルと保存先フォルダ

録画ファイルと各ファイルの保存先については以下の通りとなります。

録画ファイル	保存先フォルダ	上書き
ループ録画（常時録画）	norm フォルダ	上書きされる
緊急録画	emer フォルダ	選択可能（※）
駐車監視録画	emer フォルダ	選択可能（※）
静止画	photo フォルダ	上書きされる

※緊急録画上書きの設定方法について「P52 設定メニュー」

## 録画ファイルのファイル名

各フォルダへ保存されるファイルは以下の通りとなります。  
フロントカメラ映像とリヤカメラ映像はファイル名が異なります。  
また、映像ファイルと静止画ファイルでは拡張子が異なります。

### 映像ファイル

**2020\_12\_01\_081234\_00\_b.MP4**

記録日付

記録時間

拡張子

ファイルシステム識別番号

（緊急録画の上書き設定=上書きしないの場合、normフォルダへ保存される際の識別番号となります）

静止画ファイルの場合、  
拡張子は「.JPG」

リヤカメラ撮影ファイル

リヤカメラで撮影されたファイルに「b」と付与されます

# 録画ファイル（つづき）

## 最大録画可能時間

- ループ（常時）録画＝32GB：約75分
- 緊急録画録画＝32GB：約50分
- 静止画最大保存サイズ＝約600MB

※上記はフロントカメラおよびリヤカメラ最大録画時間となります

※目安の数値となります。最大録画可能時間は録画環境などにより変動します

※上記は理論値のため、目安となります（システムデータ領域も含まれます）



### ご注意

- ・緊急録画された映像ファイルを上書きしないように設定すると、カードの容量がいっぱいになり、録画ができなくなる場合があります。
- ・必要に応じて、ファイルを削除、あるいはmicroSDカードの内容をバックアップし、microSDカードのフォーマットをおこなってください。
  - microSDカードのフォーマット方法について「P24 microSDカード」
  - 録画ファイルの消去方法について「P42 再生メニュー」
- ・「emer」フォルダに保存されるファイルは、録画ファイルを上書きするか、上書きしないかを選択することができます。
- ・上書きする場合は、緊急録画および駐車監視時の衝撃感知録画ファイルが上書きされますので、ご注意ください。
  - 緊急録画上書きの設定方法について「P52 設定メニュー」
- ・リヤカメラが接続されていない場合、フロントカメラのみの映像ファイルが保存されます。
- ・静止画ファイルが保存される「photo」フォルダは、ファイル容量が上限に達しても上書します。大切な静止画ファイルは必要に応じて、定期的にファイルをパソコンに保存するようにしてください。
- ・緊急録画フォルダの上書き設定が[上書きしない]設定の場合かつ緊急録画フォルダがいっぱいになった場合、容量オーバーのアラートメッセージが表示されます。この場合、緊急録画ができなくなりますので、パソコン等へデータをバックアップして、容量を確保するようにしてください。
- ・容量オーバーアラートが発生した場合に緊急録画が行われた場合、録画ファイルは「norm」フォルダへ保存されますので、ご注意ください。
- ・大切なデータは、上書きされないよう、あらかじめパソコン等にバックアップしてください。

# 再生メニュー

## 再生メニュー画面表示方法

録画停止状態で、再生メニューボタンをタッチすると、再生メニューを表示します。

### ▼ファンクションメニュー画面

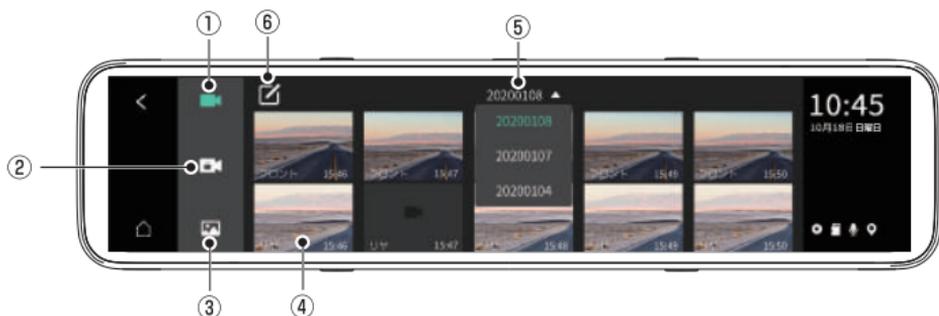


再生メニューボタンをタッチ

### ▼再生メニュー画面



## 再生メニュー画面内容



### ① 常時録画表示ボタン

ループ録画（常時録画）で撮影されたファイルを一覧表示します。

### ② 緊急録画表示ボタン

緊急録画および衝撃感知録画で撮影されたファイルを一覧表示します。

### ③ 静止画表示ボタン

静止画撮影されたファイルを一覧表示します。

### ④ 録画ファイル

フロントカメラまたはリヤカメラの映像ファイルを一覧をサムネイル表示します。

### ⑤ 日付検索ボタン

日毎の録画ファイルを絞り込み一覧表示させます。

### ⑥ 削除ボタン

録画ファイルの削除操作画面に切り替わります。

※全ファイル削除または任意に選択したファイルを個別削除できます

※削除したファイルは復旧できませんので、ご注意ください

# 再生メニュー（つづき）

## 再生メニュー編集画面

録画したファイルを編集することができます。

### ▼再生メニュー画面



#### ①削除ボタン

選択したファイルを削除します。

#### ②選択アイコン

ファイル選択されるとチェックマークが表示されます。  
※サムネイル画像をタッチすると選択されます

#### ③キャンセルボタン

一つ前の画面に戻ります。

#### ④全て選択ボタン

全てのファイルを一括選択します。



### ご注意

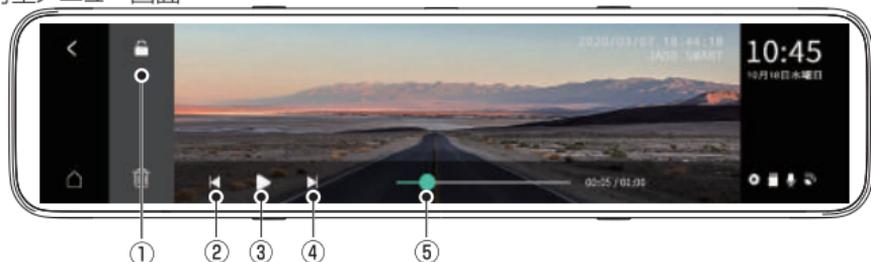
- 再生メニュー画面および再生メニュー編集画面時は、自動でホーム画面に戻りませんので、操作が終了したら、必ず[バック]ボタンもしくは[ホーム]ボタンをタッチして、通常録画面に戻してください。
- 再生メニュー中に衝撃を感知しても、緊急録画は行われませんので、ご注意ください。
- 緊急録画（ロック）ファイルにおいても、再生メニュー編集画面で、一括および選択により削除することができます。

# 再生メニュー（つづき）

## 再生画面

録画したファイルを再生することができます。

### ▼再生メニュー画面



#### ①ロックボタン

現在表示されているファイルを保護します。  
※ロックされると、ロック状態にアイコンが変わります  
※ロック中にタッチすると、ロックを解除します  
※ロックされたファイルは「emer」フォルダへ移動します

#### ②戻すボタン

一つ前のファイルに切り替えます。

#### ③再生ボタン

ファイルを再生します。  
再生中は一時停止マークに切り替わります。

#### ④送るボタン

一つ後のファイルに切り替えます。

#### ⑤プログレスバー

ファイルの進捗を表示します。  
プログレスバーをタッチして左右に動かすと再生分秒を任意の位置へ移動することができます。



### ご注意

- ・ロック中はファイルを削除できませんので、ロックを解除してから削除してください。  
※ここでいう「ロック」とは、録画時に上書きする・しないという意味ではなく、再生モード画面でのファイル削除に対するロック（保護）となります
- ・再生メニュー画面および再生メニュー編集画面時は、自動でホーム画面に戻りませんので、操作が終了したら、必ず[バック]ボタンもしくは[ホーム]ボタンをタッチして、通常録画画面に戻してください。
- ・再生メニュー中に衝撃を感知しても、緊急録画は行われませんので、ご注意ください。

# リバース連動

## リバース連動とは

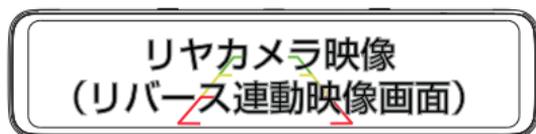
車両のリバース信号がオンになった際（バックギアに入れた場合）、自動的にリヤカメラ映像を表示させる機能です。リバース連動の動作条件を満たしている場合は、画面モードがどの画面モードであっても、自動的にリヤカメラ映像に切り替わります。また、リバース連動が作動した場合、リヤカメラの映像表示角度をお好みの角度に調整することが可能です。

※画面が通常のカメラモード（リヤカメラ映像）とリバース連動したリヤカメラ画面では、画面の扱いが異なります

## リバース連動操作方法



リバースギア=オン



- 1.リバース（バック）ギアをオンにする
- 2.自動的にリヤカメラ（リバース連動映像画面）に切り替わる  
※画面モードがどの状態であっても、自動的に切り替わります

## リバース連動機能を使用するには（動作条件）

リバース連動機能を使用するには、リバース信号線を車両のリバース信号に接続する必要があります。

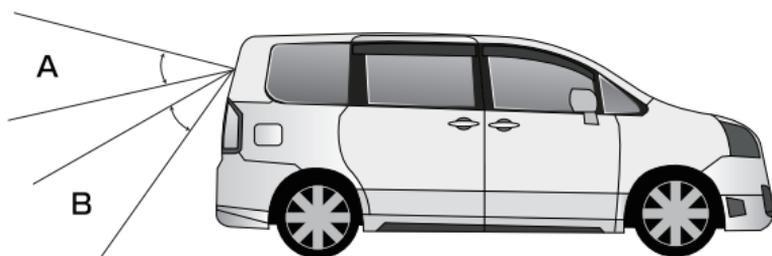
→接続配線図について「P17 取り付け」

## リバース連動（つづき）

### リバース連動時の映像表示について

通常のカメラモード（リヤカメラ映像）で表示されている画面表示位置（画面角度）とリバース連動で表示されるリヤカメラの映像画面表示位置（角度）は、別の角度で表示させることが可能です。

例えば、カメラモードのリヤカメラ映像は後方の車両を表示する角度にして、リバース連動時のリヤカメラ映像は、一般的なバックカメラと同じように下向きに表示する角度に調整して、使い分けることができます。そのため、後退する際、障害物などが確認しやすくなります。



A：カメラモード（リヤカメラ映像表示角度）

B：リバース連動で表示される映像表示角度

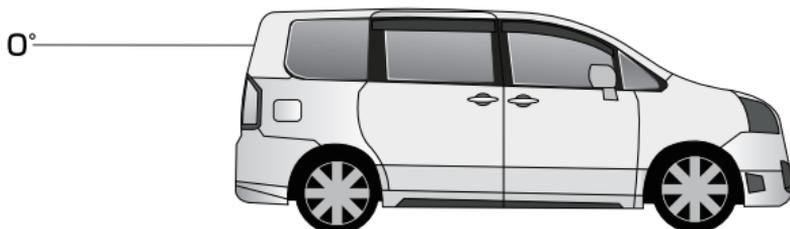
### リバース連動時の角度メモリについて

リバース連動時のカメラ表示位置（角度）は、通常のカメラモード（リヤカメラ映像）の表示位置（角度）と別々にメモリ保存することができます。

※設定された後、エンジンを一度オフして、再度次回起動した場合は、設定された表示角度で表示されます

※工場出荷状態にした場合は、メモリ保存は初期化され、初期表示位置に戻ります

※初回起動時や工場出荷出荷状態にした場合、リバース連動時のカメラ角度の初期値は、リヤカメラを水平状態で中心を $0^{\circ}$ と考えた場合、 $0^{\circ}$ となります



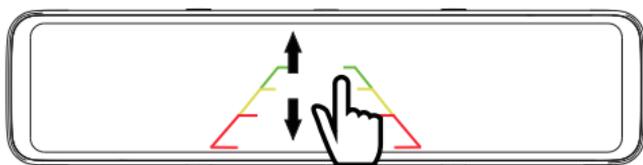
## リバース連動（つづき）

### リバース連動時の映像表示角度調整について

リバース連動で表示されるカメラ表示の角度を変更する場合は、以下の方法で設定をしてください。一度設定すると、初期化しない限り表示角度をメモリ保持（設定記憶）します。

#### ●映像表示角度変更方法

リバース連動によるリヤカメラ映像画面中に、画面を直接ドラッグ操作して映像表示角度を変更することができます。



#### ⚠️ ご注意

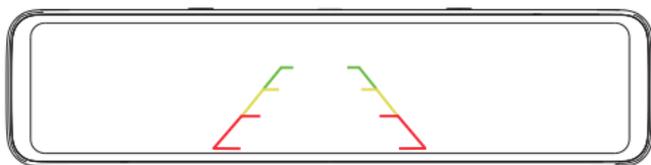
- ・リヤカメラの取り付け位置によっては、角度調整を行ってもリバース連動した際、画面表示位置（角度）が下方向をカバーできない場合があります。その場合は、リヤカメラの取り付け位置やリヤカメラ自体の取り付け角度を調整してください。

### リバース連動時のリバースガイドライン表示について

リバース連動した際、後退時のリバースガイドライン（目安線）を表示することができます。リバースガイドラインを表示する・しないは設定で選択することが可能です。

カメラを取り付ける車種によって、ガイドラインを変更して、適切な表示に設定してください。

→リバースガイドライン設定について「P52 設定メニュー」



#### ⚠️ ご注意

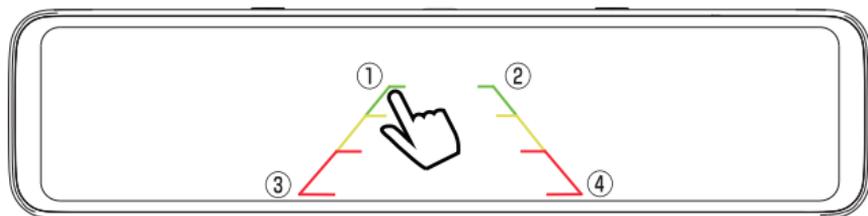
- ・本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・ガイドラインはあくまで補助的な目印となります。
- ・車種によっては、ガイドラインが正しく合わない場合があります。

## リバース連動（つづき）

### リバース連動時のリバースガイドライン調整について

リバースガイドライン（目安線）を調整することができます。

1. リバース連動表示調整画面に切り替えます。
2. ①～④の各頂点を直接ドラッグして、ガイドラインの幅や高さを調整します。



### ご注意

- ・それぞれの調整を行う場合は、必ず、安全な場所に停車し、サイドブレーキを確実に引いた状態かつ周囲の安全を確かめた上で行ってください。
- ・走行中は、絶対に操作をしないでください。
- ・本書の注意事項を含め、上記を守られないことによる事故や損害について、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 駐車監視録画

### 駐車監視モードについて

本機は、電源をオフにした後も、別売の常時電源ケーブル(RDPC-1)を接続することにより、エンジンオフ後の駐車中でも衝撃を感知すると衝撃感知録画を行う「駐車監視モード」機能が搭載されています。

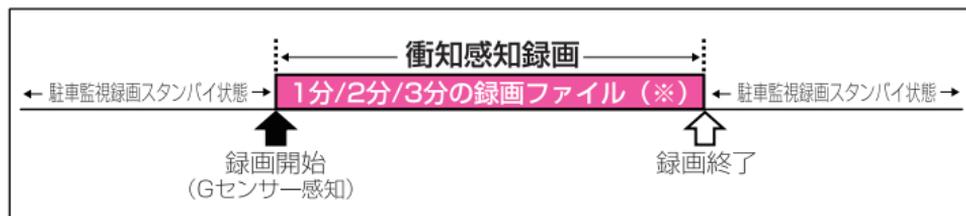
### 駐車監視時の衝撃感知録画について

車両エンジンをオフ(ACCオフ)すると、約5秒後に「駐車監視録画スタンバイ」状態となります。

駐車監視録画スタンバイ状態中、搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的に衝撃感知録画(駐車監視中の衝撃感知録画)をおこないます。

録画終了後は、再び、駐車監視録画スタンバイ状態に移行します。

車両エンジンオン(ACCオン)すると、本機の電源がオンとなり、ループ(常時)録画が開始されます。



※駐車監視録画時の録画時間はループ録画設定に依存

→ループ録画設定方法について「P52 設定メニュー」

### 駐車監視設定について

駐車監視録画を行うには、設定メニューの「駐車監視」を[オン]に設定してください。[オフ]の場合は、駐車監視モードに切り替えることができません。

→駐車監視設定方法について「P52 設定メニュー」

### 常時電源ケーブルについて

常時電源ケーブルを使用した場合の仕様は、以下の通りです。

車両バッテリー電圧が12V(12V車)になると電源供給を止め、駐車監視モードを終了し、電源がオフとなります。

→専用常時電源ケーブル(別売)について「P60 その他」

### 駐車監視録画中の液晶画面について

駐車監視録画中は、液晶画面に何も表示されず、ミラー画面状態のままとなります。

## 駐車監視録画（つづき）



- ・ 駐車監視録画は、ループ録画時間の設定時間に依存します。  
例えば、1分を設定している場合は、駐車監視中に衝撃を感知して駐車監視録画を行った場合、1分ファイルが生成されます。
- ・ 駐車監視録画中に再度衝撃を受けた場合であっても、録画の延長はされません。
- ・ 駐車監視モード中（駐車監視録画スタンバイ状態および衝撃感知録画中）は、本機の液晶画面は表示されません(液晶オフ状態となります)。また、モードボタンも無効となります。
- ・ 駐車監視録画スタンバイ時に駐車監視状態をオフにしたい場合は、一度、エンジンオンして、設定メニューから「駐車監視」設定の[オフ]を選択してください。
- ・ 設定メニューの「駐車監視」設定を[オフ]にすると、エンジンをオフしても駐車監視録画スタンバイ状態に移行されません。  
→**駐車監視設定方法「P52 設定メニュー」**
- ・ ドアの開閉時の振動を検出して、駐車監視録画（衝撃感知）が作動することがあります。
- ・ 衝撃を感知するのは本体（ミラー本体）に搭載されているGセンサーとなります。フロントカメラユニットおよびリヤカメラによる衝撃検知の機能は働きません。

## 駐車監視録画(つづき)



- ・ 駐車監視モード時の衝撃感知録画は、衝撃を感知してから録画を行います。感知前の録画は行いません。
- ・ 駐車監視の衝撃感知録画時間は、ループ録画設定で設定した時間に依存します。
- ・ 駐車監視の衝撃感知録画ファイルは「emer」フォルダに保存されます。
- ・ 駐車監視の衝撃感知録画中にエンジンオン（本体電源ON）した場合は、緊急録画を中断し、本体が再起動します。駐車監視録画が中断されるまでの録画ファイルは「emer」フォルダに保存されます。  
→ループ録画設定方法「P52 設定メニュー」
- ・ 衝撃感知のセンサーレベルによっては、衝撃感知録画が多くなる場合があります。環境に応じて、Gセンサーの調整をしてください。  
→駐車監視設定方法「P52 設定メニュー」
- ・ 常時電源ケーブルご使用の場合、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。
- ・ 次の方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、常時電源ケーブルでの使用には十分ご注意ください。
  - ▶ 毎日走行しない場合
  - ▶ 1日の走行が1時間以下の場合
  - ▶ 車両バッテリーを1年以上使用している場合
    - ※上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください
- ・ 常時電源ケーブルを使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 駐車監視モード時の衝撃感知録画回数はmicroSDカードの空き容量や車両バッテリーのコンディションに依存します。
  - ※常時電源ケーブルを使用する際、バッテリーコンディションにより、駐車監視機能が途中で終了してしまう場合があります
  - ※録画環境などの条件により録画回数や録画ファイル数は変動します

# 設定メニュー

## 設定メニューについて

録画停止状態で、「」ボタンをタッチすると、設定メニュー画面を表示します。

### ▼ファンクションメニュー画面



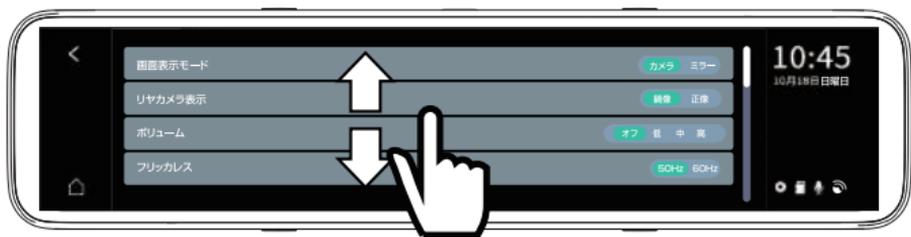
設定メニューボタン

### ▼設定メニュー画面



## 設定メニュー画面内容

設定メニュー画面で、設定リスト項目を上下にドラッグ操作することで、メニュー項目のページ（項目）を切り替えることができます。



## ご注意

- ・設定メニュー画面中、約30秒間何も操作が行われないと、ホーム画面に自動的に戻り、録画を開始します。
  - ※「画面表示モード」設定が「ミラー」を選択している場合、ミラーモードに戻ります
  - ※「画面表示モード」設定が「カメラ」を選択している場合、カメラモードに戻ります
- ・設定メニュー画面中に衝撃を感知しても、緊急録画は行われませんので、ご注意ください。
- ・設定メニュー画面中は録画されません。

## 設定メニュー（つづき）

項目	設定内容	
SDカード情報	挿入されているSDカードの空き容量と全体容量情報を表示します。	
	フォーマット	「フォーマット」ボタンをタッチすると、SDカード初期化の確認画面に入ります。 [OK]を選択すると、SDカードをフォーマットします。 ※フォーマットする前に、重要なデータをPC等でバックアップしてください
ループ録画	1分 2分 3分	常時録画(ループ録画)で記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。
音声録音	オン	音声録音をします。
	オフ	音声は録音をせず、映像のみ記録します。
Gセンサー	オフ 低感度 標準感度 高感度	Gセンサー（衝撃感知）の感度レベルを設定します。 高感度：衝撃を検出しやすくなります 低感度：衝撃を検出しにくくなります
緊急録画上書き	オン オフ	緊急録画および駐車監視モード時の衝撃感知録画ファイルがSDカードの保存占有率に達した時、すでにあるファイルを上書きして録画を続けるか、上書きせずにファイルを保護するかを選択します。 <b>オン（上書きする）</b> ：自動的に古いファイルを削除して、新しいファイルを保存します <b>オフ（上書きしない）</b> ：「emer」フォルダへはファイルを上書きしません。ファイルがフォルダ上限に達した場合、緊急録画や駐車監視モード時に衝撃感知すると録画は行いますが、「norm」フォルダに保存されます。 ※[オフ]に設定した場合、microSDカード容量が上限に達すると、エラー表示されます
駐車監視	オフ オン	駐車監視機能を行いません。 ※外部電源がシガー電源ケーブルでも常時電源ケーブルでも同様となります 駐車監視機能を行います。 ※専用常時電源ケーブルが接続されている場合に限りです
駐車監視衝撃感度	低感度 標準感度 高感度	駐車監視時のGセンサー（衝撃感知）の感度レベルを設定します。 高感度：衝撃を検出しやすくなります 低感度：衝撃を検出しにくくなります
画面表示モード	カメラ ミラー	フロントまたはリヤカメラ画面を常に表示します。 液晶表示がオフになり、ルームミラーとして使用できます。
リヤカメラ表示	鏡像 正像	リヤカメラ映像を鏡像で表示します。 ※鏡像に設定した場合でも、録画ファイルは正像表示となります リヤカメラ映像を正像で表示します。

## 設定メニュー（つづき）

項目		設定内容と説明
ボリューム	オフ	音量を調整します（オフを含め、4ステップ）。 ※音量は、音声ガイダンスやファイル再生音の音量が連動します
	低	
	中	
	高	
フリッカレス	50Hz	録画時にLED信号灯や蛍光灯などのちらつきを防止します。 ・ 50Hz：東日本地域の場合に設定します ・ 60Hz：西日本地域の場合に設定します
	60Hz	
日付設定	GPS日時同期	[オン]：日時同期をします [オフ]：日時同期をせず、手動で日時設定ができます
	日時設定	日時を設定したあと、[OK]をタッチすると設定値が反映されます。
表示言語	日本語	本機の表示言語を選択します。 ※言語を日本語以外に設定した場合、音声ガイダンスは日本語のままとなります
	英語	
	中国語	
オートフォーマット	オン	毎月の初回起動時に自動でフォーマットさせるかを設定します。
	オフ	
GPS情報		GPSの受信レベルや状態を表示します。
リバースガイドライン	オン	リバースガイドライン(目安線)を表示するかどうかを設定します。
	オフ	
初期設定	OK/キャンセル	設定メニュー項目を全て工場出荷状態に戻します。
本体情報	型番	本機の型番を表示します。
	録画画素数	本機のフロントカメラとリヤカメラの録画画素数を表示します。
	ソフトバージョン	本機のソフトバージョンを表示します。
	MCU	本機のMCUバージョンを表示します。

# PCビューワー

専用再生アプリケーションを使用すると、録画した映像をPC上で表示再生することができます。

## PC動作推奨環境

対応OS	Microsoft® Windows® 10 (64bit)
CPU	2.2GHz以上で2コア以上のCPU
メモリ	RAM 8GB (DDR3) 133MHz以上
HDD	100MB以上の空き容量が必要
ディスプレイ	1280x720以上の解像度で表示可能なディスプレイ
対応ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer®10以降
その他	.NET Framework 4.5以上 ※インストール時、使用時ともにシステム管理者 (Administrator) 権限が必要な場合があります ※microSDカードを読み込みできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがmicroSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください ※シンボリックリンクでの動作保証はしておりません ※インターネット環境が必要となります

- Macには対応していません。
- すべてのOS・パソコンについて動作を保証するものではありません。
- お使いになるパソコンの処理能力や環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 機能改良のため、PCビューワーソフトのアップデートを行う場合があります。詳しくはホームページを参照ください。  
※地図表示等が変更される場合があります。あらかじめご了承ください

## PCビューワーソフトダウンロードについて

以下、弊社ホームページより専用PCビューワーソフトをダウンロードしてください。  
使用方法などの詳細な説明はホームページ上にあります。

[http://www.innovativesale.co.jp/link/goods/Regeo/manual/SRZ-1220\\_PCViewer\\_Manual.pdf](http://www.innovativesale.co.jp/link/goods/Regeo/manual/SRZ-1220_PCViewer_Manual.pdf)



### ご注意

- ・パソコンのスペックにより、動作しない場合があります。
- ・上記およびホームページに記載のあるパソコンのスペックを満たしている場合であっても、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- ・OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証しておりません。
- ・自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証しておりません。
- ・パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用頂けないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いかねます。
- ・パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン各メーカーまたは販売店にお願いします。
- ・仕様変更および改良のため、予告なくバージョンアップする場合があります。その際、地図表示内容やソフトの表示、操作が変更される場合があります。
- ・パソコンのスペック変更等がされた場合、本ソフトが正しく動作しない場合があります。

## トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	●シガーアダプターの接続不良の可能性があります。	●シガーアダプターを一度外してから、再度接続し直してください。また、シガーソケットに確実に差し込まれているかを確認してください。
	●分岐ソケットを使用していませんか？	●シガーアダプターを分岐されたソケットに接続すると、火災や故障及び誤動作の原因になります。
	●付属のシガーアダプターを使用していますか？	●付属のシガーアダプター以外の電源を使用しないでください。火災や感電及び誤動作の原因になります。
	●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。	●本機は「-10℃～+60℃」温度環境下で使用できます。
誤作動をする	●本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。	●電源をオフ→オンしてください。
録画したはずのファイルがない	●常時録画ファイルはmicroSDカードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。	●ファイルを残しておきたい場合は、定期的にバックアップすることをおすすめします。
液晶画面にドット抜けがある	●液晶パネルの特性です。不良ではありません。	—
録画できない	●microSDカードが本体に挿入されていますか？	●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。
	●microSDカードの読み込みエラーが発生していませんか？	●microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、別のmicroSDカードでお試しください。または、再度microSDカードの抜き差しをおこなってください。
操作音や音声ガイダンスが鳴動しない	●本体ボリュームがオフになっていませんか？	●設定メニューの「ボリューム」の設定を確認してください。
GPSが受信できない	●GPS電波が受信しづらい場所を走行していませんか？	●トンネル内やビルの谷間などはGPS電波を受信しづらい場合があります。
	●本機を起動したばかりではありませんか？	●本機を起動した直後はGPS電波を受信しづらい場合があります、しばらく経ってから再度確認してください。
	●内蔵GPSが受信できない車内環境ではありませんか？	●純正ミラーの取り付け方を見直してください。 ●車種によっては、GPSが受信しにくい可能性があります。

# トラブルシューティング（つづき）

症状	原因	対処方法
GPSが受信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工場出荷をした直後ではありませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●GPS受信ができていない状態で、工場出荷設定に戻した場合、GSP受信するのに約2分程度かかる場合があります。</li> </ul>
再起動する 場合がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●車両の電圧を確認してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源が入っている時に、各ケーブルの抜き差しをすると、本体が再起動または電源オフとなる場合があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源が入っている状態で、ケーブルの抜き差しは行わないでください。思わぬ動作となる場合や故障する場合があります。</li> </ul>
信号機表示が 消えてしまう	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>●映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また、逆光などの環境によっては信号機表示が確認できない場合があります。その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。</li> <li>●信号機表示が確認できないことによる事故やトラブルに関しまして、弊社は一切その責任を負いかねます。</li> </ul>
緊急録画が 頻繁におこな われる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Gセンサー感度の設定が適切ではない可能性があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設定メニューの「Gセンサー」から設定を変更してください。</li> </ul>
他の車載機に 影響が出る (テレビが映ら ない等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取付場所はアンテナ、レーダーなどに50cm内に位置していませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。また、ETCアンテナ等から50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。</li> </ul>
画面が表示し ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駐車監視モードではありませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駐車監視モード時は画面表示しません。また、MODEボタンも無効となります。</li> </ul>
画面が ちらつく	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源供給が不安定な可能性があります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●付属品のシガー電源アダプターを使用してください。</li> <li>●分岐されたシガーソケットを使用している場合は、直接車両のシガーソケットに差し込んで使用してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各ケーブルの接続を見直してください。</li> </ul>

## トラブルシューティング（つづき）

症状	原因	対処方法
リヤカメラが表示しない	●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	●リヤカメラは接続されていますか。 ●各ケーブルの接続を見直してください。
SDカードエラーが発生する	●定期的にSDカードをフォーマットしていますか？ ●SDカードが正しく挿入されていますか？ ●SDカードが破損している可能性があります。 ●SDカードに異常が発生している可能性があります。	●SDカードをフォーマットしてください。 ●SDカードを正しく挿入し直してください。 ●SDカードを交換してください。 ●パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ●本機を再起動してください。 ※SDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください
フォーマットができない	●SDカードに異常が発生している可能性があります。	●パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ●SDカードを交換してください。 ※SDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください

### ご注意

本機は使用していない状態が長時間続くと、スーパーキャパシタが放電されますので、初めてお使いになられる場合や長期間ご使用されなかった場合は、必ず付属のシガー電源アダプターを車両のシガーソケットに差し込み、十分に充電してからご使用ください。

なお、充電時間が短い場合、電源が入らないまたは電源が入っても起動中に電源が落ちてしまう、画面がチラついて見える場合がありますのでご注意ください。

※充電時間の凡目の目安は約 1 分となります（温度環境により誤差があります）

# エラーメッセージ

## | 主なエラーメッセージについて

メッセージ内容	原因	対処方法
SDカードが挿入されていません SDカードを確認してください	microSDカードが挿入されていないか、microSDカードが読み取れない状態になっています。	microSDカードを挿入してください。 ※付属品のmicroSDカード以外を使用すると、認識できない場合があります
SDカードエラー	microSDカードが読み取れない状態になっています。	microSDカードを確認してください。 microSDカードが破損している可能性があります。microSDカードをフォーマットしてみてください。 ※フォーマットすると、全てのファイルが消去されますので、ご注意ください ※付属品のmicroSDカード以外を使用すると、読み書きができない場合があります
緊急録画ファイルが上限です SDカードを確認してください	emerフォルダがいっぱいになっています。	対象のフォルダにある録画ファイルを削除するか、microSDカードをフォーマットしてください。 ※フォーマットすると、全てのファイルが消去されますので、ご注意ください ※緊急録画上書きの設定を見直してください（古いファイルが上書きされ、消去されるため、設定については十分ご注意ください）
リヤカメラが検出できません リヤカメラの接続状態を確認してください	リヤカメラが未接続の可能性が あります	リヤカメラが正しく接続できているか確認してください。

## その他

### SDカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。定期的なフォーマット(SDカード内を初期化すること、もしくはオートフォーマットを実行すること)をお勧めします。

#### ※ファイル断片化について

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。そのため、安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをお勧めしています

→microSDカードについておよびフォーマットについて「P24 microSDカード」

### 別売品

#### ●常時電源ケーブル(製品型番:RDPC-1) ※12V車専用用品

- ・ 駐車監視時の衝撃感知録画をより多くの回数で録画をしたい場合など、常時電源ケーブルをお買い求めください。
- ・ 専用常時電源ケーブルは、常時電源(バッテリー)、アクセサリ、アースの接続が必要となります。取り付けには、専門の知識と技術が必要となりますので、販売店や専門技術者へ依頼してください。
- ・ 本ケーブル以外は使用できません。
- ・ 正しく接続しないと、車両バッテリー上がりや駐車監視機能が動かなくなる場合や期待した動作にならない場合がありますので、必ず接続を確認してください。

#### <ご注意(あらかじめご了承ください)>

- ・ 常時電源ケーブルをご使用の際、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。
- ・ 定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。
- ・ 次の方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、常時電源ケーブルでのご使用には十分ご注意ください。
  - ▶毎日走行しない場合
  - ▶1日の走行が1時間以下の場合
  - ▶車両バッテリーを1年以上使用している場合※上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください
- ・ 常時電源ケーブルを使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 常時電源ケーブルを使用する際、バッテリーコンディションにより、録画時間(録画回数)が少なくなる場合があります。
- ・ 専用常時電源ケーブルを使用したことによる車両のバッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 車両のシステム(ハイブリッドシステムや電気自動車等)によっては、期待した動作にならない場合があります。

## その他 (つづき)

### <常時電源ケーブル接続時の動作について>

#### ▶駐車監視の設定が[オフ]の場合:

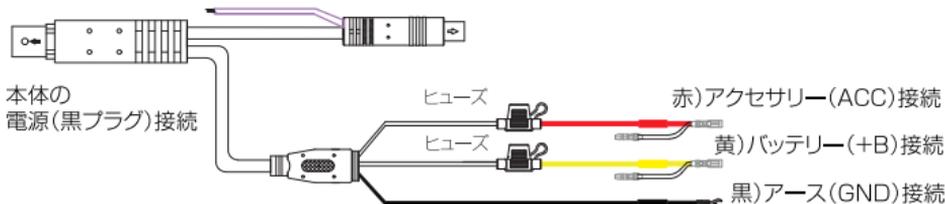
エンジンを停止すると、本機の電源がオフとなります。駐車監視モードには切り替わりません。

#### ▶駐車監視の設定が[オン]の場合:

エンジンを停止すると、一度電源がオフとなり、その後、駐車監視モードに切り替わります。

駐車監視モード中、車両のバッテリー電圧が12Vに低下すると、車両バッテリーからの電源供給を停止し、駐車監視モードは終了します。

**!** 常時電源ケーブルを使用すると、車両バッテリーの消費電力が多くなりますので、ご注意ください。  
また、常時電源ケーブルの接続を誤ると、バッテリー上がりの原因となりますので、ご注意ください。



### 日時保持期間について

本機はGPS受信機を搭載していますが、GPSの受信ができない環境が長時間続いた場合、内部の時計保持機能がリセットされる場合があります。

その場合、GPSが受信できる環境へ移動すると、正確な日時を取得・表示することができます。

→GPSについて「P7 注意事項」

### もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずmicroSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

### <保管場所について>

microSDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとmicroSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所(曲げ・折り含む)
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

### SONY STARVIS™ (スターピス)について

本機のフロントカメラおよびリアカメラには、夜間やトンネル内等の暗い場所でも明るく撮影をすることができる高感度・高画質を実現した裏面照射型画素技術の「STARVIS」を採用したCMOSイメージセンサーを搭載しています。

※STARVIS(スターピス)および **STARVIS** は、ソニー株式会社の商標です

# 製品仕様

品番	SRZ-1220	
商品名	デジタルバックミラー(ドライブレコーダー機能搭載)	
液晶	11.88インチ タッチパネルIPS液晶(静電式1480×320)	
記録媒体	microSDカード(32GB Class10 同梱)	
レンズ(フロントカメラ)	イメージセンサー 記録画角 F値 フレームレート	SONY IMX307 (STARVIS) 1/2.8型CMOSセンサー 対角:124° /水平:102° /垂直:53° 2.0 27.5fps
レンズ(リヤカメラ)	イメージセンサー 記録画角 F値 フレームレート	SONY IMX307 (STARVIS) 1/2.8型CMOSセンサー 対角:124° /水平:102° /垂直:53° 2.0 27.5fps
動画記録解像度(フロントカメラ)	1080P (1920×1080P)	
動画記録解像度(リヤカメラ)	1080P (1920×1080P)	
静止画記録解像度(フロントカメラ)	FHD1080P (1920×1080P)	
静止画記録解像度(リヤカメラ)	FHD1080P (1920×1080P)	
ファイル形式	動画:「.mp4」/静止画:「.jpg」	
ループ(常時)録画時間	1分/2分/3分	
録画モード	ループ(常時)録画 緊急録画(衝撃感知または手動) 駐車監視録画(衝撃感知)	
静止画撮影	対応	
Gセンサー(通常録画)	オフ/低感度/標準感度/高感度	
駐車監視機能	対応 ※専用常時電源ケーブル接続時のみ	
画像補正技術	WDR	
音声録音	オン/オフ可能	
ガイダンス音声	対応	
GPS	搭載(内蔵)	
専用PCビューワー	対応(ホームページよりダウンロード) ※Windows10対応	
内蔵電源	スーパーキャパシタ	
使用電源電圧	12V(12V車専用)	
消費電力	最大10W	
動作温度	-10℃~60℃	
外形寸法(本体)	約290 (W) ×71.5 (H) ×18.1 (D) mm	
外形寸法(フロントカメラユニット)	約81.5 (W) ×54 (H) ×29 (D) mm	
外形寸法(リヤカメラ)	約56.1 (W) ×33 (H) ×29 (D) mm	
重量(本体)	約344g (ケーブル類除く)	
重量(フロントカメラユニット)	約83.7g	
重量(リヤカメラ)	約25.2g	

※本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

※機能改良のため、ファームウェアのアップデートを行う場合があります。詳しくは下記のホームページを参照ください

<http://www.innovativesale.co.jp/>







# Regeo

販売元：株式会社イノベティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

<http://www.innovativesale.co.jp/>

## お問い合わせはサービスセンターへ

### ▼電話でのお問い合わせ

**048-970-5027** (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00

(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

### ▼メールでのお問い合わせ

**[cs@innovativesale.co.jp](mailto:cs@innovativesale.co.jp)**